

○リオデジャネイロオリンピックへの議員派遣について

Q 区議会だよりによれば、平成 28 年第一回臨時会でリオデジャネイロオリンピック競技大会視察・調査派遣の件が可決されている。東京都は民意を考慮して議員の派遣を中止した。東京都の民意が派遣に反対しているのに、東京都の下位組織である品川区はなぜ派遣を強行するのか。

派遣は区議会で議決されているので、形式的には民主主義かも知れないが、議員が民意を考慮せずに議決するやり方は、権力を握れば自分たちの勝手だという独裁主義だ。

まだ時間はある。区の民意を考慮し、派遣を撤回していただきたい。

A 品川区内では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおいて、ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカーの 3 競技が開催会場として予定されています。このため、招致決定後より多くの開催周知事業を実施してきました。

2020 年東京大会は、区にとってもスポーツの振興はもとより、様々大きな発展に寄与する契機になると考えます。そして、リオ大会は本番までの最後の夏季大会であり、大会の開催状況や、ボランティアを始めとした地元自治体の関わり、まちづくりなど、直接現場に赴いて確認することが重要であるとの認識のもと、視察を実施することといたしました。

視察は、部長級職員以下 5 名と、区民の代表である区議会議員 2 名の計 7 名で実施し、区議会議員の同行は、区職員とは異なる視点での調査・考察をすることで、相乗効果を生み出すことができるものと考えています。

また、行程は 3 泊 7 日（機中泊を含む）とし、当初よりエコノミークラスでの渡航とビジネスホテルへの宿泊を前提に調整をした結果、約 1,500 万円の経費（航空運賃・宿泊費等の 1 人当たりの経費は約 97 万円、そのほかアテンド料、コーディネート費用、通訳・ガイド経費等）となる見込みです。

視察の結果につきましては、区議会へ報告させていただき、区のホームページでも公表してまいります。

品川区にとって、実りある成果を得ることができる視察となるように誠心誠意努めてまいりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

※ブラインドサッカーは、開催会場が品川区外の会場に変更になりました。

(文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック準備課)